

3月議会では児童急増問題について多くの議員から質問が出ました。「本当に子育てしやすい流山」を訴えてきた議員として、とてもありがたいです。今後も多くの方々のご理解を頂くため、一步先を見据えた提言を行ってまいります！！

8歳と6歳 2児のママ 無所属 2017.4 発行

近藤みほ通信

3月議会 一般質問報告

流山市市議会議員

Vol. 8

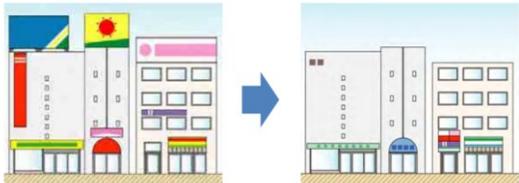


今回の議会では①美しい景観を守る広告物(看板)のルールづくり②マンション管理組合と地域の連携③子どもの虐待未然防止の取組み④児童館の弾力的な運用(昼食をとれるようにする、放課後直接行けるようにする)の4点を訴えました。①、④は実現の方向、その他は前向きな答弁を頂きました。詳細を報告します(対応する番号のトピックをチェック)。

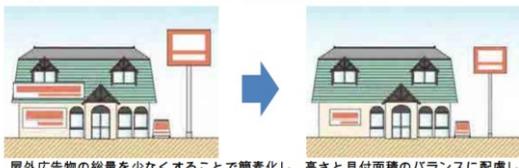
提言① 派手な看板にNO 美しい街並みで選ばれる街づくりを

- 美しい
- 選ばれる・住み続けたい
- 人口減少時代でも価値が落ちにくい

協力事業者様
拍手！



適度に大きな広告を避け、建築物の壁面と調和した色彩デザインとします。



屋外広告物の総量を少なくすることで簡素化し、高さと見付面積のバランスに配慮します。



落ち着いた色彩を使用したコーポレートカラーの特別使用例

本体の建築物との調和に配慮し、表示面積を抑えている例

(出典) 流山市景観計画ガイドライン

近藤は、転入者の方にお会いした時に必ず「転入の決め手」を伺います。すると多くの方が「美しい景観」と答えます。流山市は全域を景観計画区域として、広告物(看板など)については厳しく制限し美しい景観をつくってきました。ご協力頂けない事業者だけが目立ち、得することが無いような対策の研究と、ご協力頂いた事業者へのメリット(市民に広く広報する等)を市に要求、前向きな回答を頂きました。今後の人口減少社会においても選ばれる街づくりに、価値が落ちない街づくりのために、住民の皆様にも是非関心を持って頂きたいと思います。

美しい景観形成にご協力下さい



*15日以内の撤去



是非近藤をお呼びください 「ざっくばらんに何でも聞いてみたい会」開催中

2~3人からの集まりに出張し、近藤が調査したこと、市に提言したことなど、近藤の考えをお伝えします。また皆様との対話によって市に提言すべきことを考えていきます。議員は市民と行政のパイプ役。ワンストップ窓口係です。お気軽にご連絡ください。



H29年1月は商工関係の方にリクエストを頂きました

相談&問い合わせ先: info@mihokondoh.net

【近藤みほ略歴】

茨城県潮来市生まれ。東京都立大学大学院 建築学卒。2児(8歳と6歳)の母。大学時代にコンピューターの面白さに出会い、都内のITエンジニアリングコンサル会社に就職。本格的に働き始めたら地域にお世話になるからと、第二子の育児休業中にボランティアに従事。地域には様々な課題があることを知り、本腰をいれて向き合いたいと立候補。H27年5月流山市議会初当選。



討議資料

提言② マンションが陸の孤島と ならないように

急速な高齢化や福祉ニーズの多様化により、公共のサービスの充実は質量ともに限界を迎えており、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて地域住民に「福祉の担い手」としての行動がより求められていきます。自治会の無いマンションであっても1人で背負うのではなく地域や行政との連携で乗り切る仕組みづくりが急務です。そこで品川区の取組みを参考に行政連絡調整員制度の導入を提言しました。市は前向きに検討する方向です。

困った時の支え合いは、
まず、お互いの顔が
みえる関係づくりから



提言③ 子どもの虐待防止のための サポート体制構築

【孤独でハイリスクな育児者が急増中！】
母乳不安／マタニティブルー／育児不安
／パートナーの無理解／頼り先が無い
乳児全戸訪問の約32%が要支援者です！



市はH29年10月から母子手帳交付時に丁寧な面接を行い、産後ケア等の適切な支援につなぐ事業を開始します。身近な所での支援も重要になるため、松戸市の良例から地域子育て支援センターやNPO等との連携も必要と提言しましたが市からは前向きに研究していくとの回答でした。転入者が多い本市では地域で一緒に子育てができる仕組みづくりが急務です。切羽詰まる前に手が差し伸べられるよう、今後は一時保育等も併せて訴えていきます。

【Check】松戸市は子育て支援が潤沢！！

- ・ 通院や買い物や上のお子さんの用事などの理由で、子どもを最大4時間（500円/1時間）まで預けられる制度有（6か月～小学校就学前対象）
- ・ 私立幼稚園預かり保育料について一部を助成
- ・ 子育てコーディネーターが子育てひろばに常駐。

提言④ 子どもが自由に行ける・遊べる 選択肢を増やしました！

都市化の中、空気が減り人口密度が高くなるに従い、子ども達の自由なあそび場が不足しています。そこで、子ども達が児童館にゆったりいられるよう、お昼はお弁当も食べられるよう要望しました。これは夏休み等の長期休みの利用の際に多かったですご要望ですが、実現の方向です。また、学校から直接児童館に行けるよう要望しました。これは一部地域から試行的に実施するとのことでした。

その他

【2～3月】議員イン ターンシップとして大学生を受け入れ、大学生は30年後の流山市の政策づくりを行いました。近藤は若い世代の育成に力を入れています。



【3/23】勉強会に参加。資産が負債になるかもしれない時代。しっかり財政をチェックする知識が必須！

【3/20】有名な松戸市の子育て支援ひろばの現場を見学してきました（なんと駅前にある！）



市民と議員の条例づくり交流会 2017春の総会企画
新公会計制度と
議会の予算・決算審査
～審議に納得していますか？市民に説明できますか？

※その他、自治体学会への論文寄稿なども行いました。

近藤の活動の**詳細**は
ホームページにて

政策提言を意識しながらの
情報発信行っております。



(URL) <http://mihokondoh.net>

【①女性の生き方相談が開始】

3月1日より女性の生き方相談窓口が開設されています。月3回「毎月第1・2・4金曜日（祝日を除く）10時から16時のみの開設ですが大きな一歩です。これまでつなぎ先に乏しかったため、とても嬉しいです。さらに充実させていけるよう私も後押ししていきます。

予約申し込み・問い合わせ 電話：04-7150-6091
（流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室）

【②学校開放が前進！夏休みで試行事業開始】

夏休みの小学生の居場所として学校が一部開放されます。本年度は、おたかの森・小山・南流山の3小学校で試行、次年度以降拡大予定です。利用は1日1,000円、各学校で定員40名、小学1年生～3年生・小学校区児童が優先とのこと（4月現在情報）。ご希望の方は5、6月の広報ながれやま等をチェックして下さいね！

必要性を訴えてきた事業が多くの方のご理解を得て開始、感無量！